

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和5年9月20日（水）午後7時30分～午後8時30分
地 区	妙見東地区
場 所	妙見東3丁目自治センター
参加人数	16人

テーマ1 公共交通について

主 旨（区長）

- 京阪バスは一時間に一本しか走っておらず、星田方面への路線はあるが、河内磐船駅方面へのバスが無くなってしまい、不便である。
- 妙見東地区も高齢化が進んでおり、最も需要があるのは通院のための交通手段である。高血圧による脳疾患患者への対応策として、四條畷市の畷生会脳神経外科病院へのバス等の運行を要望する。
- 寝屋川市では、乗り合い事業として畷生会脳神経外科病院行きワゴンを運行しており、交野市でも同様の取組みを検討してほしい。
- mobiという交通サービスについても地区で調べている。全国14ヶ所で導入されており、月5,000円で乗り放題となっている。事業者ヒアリングしたところ、大阪市北区では5台の車両で回すことができているとのこと。こうした受益者負担のサービスであれば、市の財政にあまり負担をかけずに導入することもできるのではないかと考えている。導入には運輸局の許可が必要とのことなので、今年度開かれている公共交通会議でも取り上げてほしい。
- 法律や制度面での規制や、事業者との競合があるからできないというのではなく、その規制や利害関係などを突破できるような方法を考えてほしい。

市 長

- 河内磐船方面へのバスについては、フレンドマート前にバス停を設置するための路線改訂（R4.10月）に伴い、駅がルートから外れてしまっている。本来は藤が尾のJR高架下を通るルートで回るはずだったが、藤が尾地区の反対にあい計画が進んでおらず、駅を迂回するしかない現状である。できるだけ早急に解決できるよう働きかけを行っていく。
- 寝屋川市の乗り合い事業は、駅がないエリアで、スーパーや病院を繋いで運行しているものである。交野市で実施するなら、藤が尾エリアでフレンドタウンと星田南病院間を送迎するルートが優先されると思われる。
- 妙見東地区から星田駅方面へワゴンを走らせると京阪バスの路線と競合してしまい、撤退される危険性がある。京阪バスには年間約2,000万円の補助を出しており、星田方面の路線を一本と交野市駅方面への路線を一本維持しているが、エリア的には採算が厳しいと言われている。今後どうしていくかを検討していく。
- mobiについては、すでに都市計画部でも研究している。路線バスがあるエリアは京阪バスと競合し、採算的にも難しい見込みとなっている。令和5年度・6年度の地域公共交通会議のメンバーとして京阪バスや国交省の職員も入っているので、可能性について検討したい。

- 市としては、京阪バスから撤退したいと話があれば別だが、京阪バスの存続を第一に考えたうえで、どうしようもない地域については個別の手段を検討していきたいと考えている。もし今後京阪バスに頼らない方法をとるとしても、代わりの手段をしっかりと整えてからでないと動けない。
- 交野市では外出支援として電車・バスの補助を行っているが、タクシーの利用には制限があるため、その部分の改善や対象者の拡大に合わせて、地区ごとの実情に合わせた支援も来年度以降に実施できるよう検討していく。
- 松塚、梅ヶ枝、郡津、幾野地域では、次年度以降、タクシー会社が有償のワゴン車を走らせる取り組みを試行的に実施する。良い結果が得られれば、他の地域に展開することも検討する。

意見

- 交野市の良さとしリスクを踏まえたいうで、地域の特性に合わせた対応策を検討してほしい。
 - 他市ではゴルフカートのようなものを走らせているところもある。やり方は色々あるので、幅広く検討してほしい。
- 〔市長〕公共交通の費用はほとんどが人件費であるため、車両を変えたとしてもメリットは少ない。市としては乗り心地の面も考慮して、10人乗りくらいのワゴンを走らせることを考えている。
- 特に高齢者などは、星のブランコまで歩いていくことが難しい。クライミングウォールの前あたりから、ブランコまで行ける乗り物などがあるといいのではないか。
 - 京阪バスは撤退してもらって、市で運営するという方法もあるのではないか。
 - どうしてゆうゆうバスは廃止されたのか。
- 〔市長〕前任の市長の時に、京阪バスからゆうゆうバスが路線に競合しているという声があり、その要望に応じて廃止した。私は廃止に反対していたが、今となってはゆうゆうバスを復活させることはできない状況である。
- 京阪バスは無くさないことを原則としてほしい。そのうえで、地域に合った方策を考えて、解決策を提案してほしい。
- 〔市長〕市から京阪バスに出て行ってほしいと言うことはない。

テーマ2 公園整備について

主旨（区長）

- 公園が老朽化しており、遊具などもボロボロである。地域での清掃もしているが、市にも設備の更新等をしてほしい。
- 遊具については、子どもにとって魅力的なものに加えて、高齢者も使える健康遊具等もあると良い。まちの活性化のためにも、皆が集い遊べる場所として整備してほしい。

市長

- 現在、地域の公園の管理は、市から報償費を支払って地区にお願いしている。ただ、公園の広さにかかわらず一定額なので、来年度以降は公園の広さに応じて増額することを予定している。
- 公園の遊具等の更新は、それほど予算がかかるものではなく、市民の満足度も上がることなので積

極的に整備していきたい。天野川緑地に設置しているような健康遊具を大きい公園から順に導入していくことを考えている。

- 市はハード面の整備をしっかりとやっていくが、そこをどう使うか、どう維持管理していくかは地域で考えていただかないといけないので、引き続きよろしく願います。

その他① 高齢者の移動手段について

主旨（区長）

- 高齢化で外出が困難になってきた人への対応として、自治センターの駐輪場にリースでシニアカーを設置するとか、購入の斡旋等も含めてもう少しきめ細かく検討してほしい。福祉部や社会福祉協議会とも今後、話をする。
- 免許返納者も増えてきているが、車が無ければ移動が困難な地域柄もあり、なかなか免許を手放せない高齢者も多い。何か返納に対するメリットなどがあれば少しは後押しになるのではないかな。

市長

- 免許返納に対する方策を考えるにあたり、もともと免許を持っていない人との兼ね合いが課題になってくる。免許を返納した人だけが永続的にメリットを享受できる状態は不公平なので、返納した一時だけメリットを付与し、その後は全員平等になるように考えている。
- 以前に返納した人も含めてメリットを感じられるような方法を考えて、来年度以降に方向性を示したい。

意見

- 公平性や平等という観点も大事だが、どうしても動けない少数の人を救うための福祉の視点も必要ではないかな。

その他② 子ども世帯との同居について

主旨（区長）

- 市の施策としても、子ども世帯との同居を推進するための取組みを進めてほしい。

市長

- 市では同居・近居に対して、一定の条件を付けて補助金を交付している。好評を得ており、今後も一定の予算を付けていきたい。